



菊武学園フラッシュニュース

感謝の演奏と手紙に拍手 菊華高アクトの卒業公演



(自分たちで作詞した曲をみんなで演奏する)



(華やかなドレスに身を包みモデルウォーキング)

「感謝」をメインテーマに、菊華高校アクトコースの第4回卒業公演が1月17日、名古屋市守山文化小劇場で開かれました。2クラスの生徒40名が、歌、踊り、楽器演奏に加え、今年初めて演劇を披露しました。情熱あふれたパフォーマンスに、保護者らから盛んに拍手が送られました。

1部は歌を披露、最後にクラス全員で、自分たちで作詞したオリジナルの歌に感謝の気持ちを込めて合唱しました。

2部は、ドレスを着た女子生徒がさっそうとしたモデルウォーキングに挑戦。最後には初めて全員で3年間の行事を寸劇で表現し、最後は客席に降りて感謝の手紙を、父母ら保護者に手渡すと、盛んな拍手とうれし泣きが交錯し終了しました。

尾張旭市の保育士に合格 短大子ども学科初の快挙



名古屋経営短期大学子ども学科を2017年に卒業した山中真帆さん(21) =写真=は12月末、尾張旭市職員採用試験(平成30年4月採用)の保育士に見事合格しました。

子ども学科が開設して12年目で、初めて地元・尾張旭市職員の保育士採用が実現し、教員らも祝福の言葉をかけています。

山中さんは現在、三重県四日市の保育園で臨時職員として勤めています。念願の合格通知を手にし「名古屋経営短期大学での学びと臨時職員としての経験を生かし、一生懸命頑張ります」と、喜びを語っていました。

旧市民会館に“7”を投影 名産大講師と児童が制作



(旧市民会館の壁面に映し出された尾張旭の児童たちの作品)

尾張旭市「キャンドルナイト」の一環として、名古屋産業大学の河村陽介講師が、企画した「星と太陽と70年」のプロジェクションマッピングが12月16日、名鉄瀬戸線尾張旭駅南にある旧市民会館の壁面に映し出され、幻想的な雰囲気を市民ら200名が楽しみました。

画像処理などを研究している河村講師は、円柱のユニークな旧市民会館がプロジェクションマッピングにふさわしいと、取り壊し前に尾張旭市と協力して実現しました。

1970年に尾張旭市が施行され、菊武学園が創立されて70周年なのをキーワードに、児童らにイラストを描いてもらい、7分間の動画を、プロジェクションマッピングで映し出しました。

楽しいお店で買い物だ！ 短大生と保育園児が交流



名古屋経営短期大学子ども学科1年の学生が、12月14日、体育館で稲葉保育園児約40名を招いてクリスマスマーケットを開きました。児童らは学生たちが紙などで一生懸命作ったお菓子やステッキ、ゲーム遊びなどを買って楽しみました。

保育士や幼稚園教諭を目指す学生たちに、造形の実

習をしてもらうのと、園児たちとの交流を学んでもらうのが狙いです。園児たちは、お金の代わりにスタンプカードを持って、それぞれ気に入った商品を大喜びで買っていました。

ダブルディグリー協定締結 珍しい学部同士の複数学位

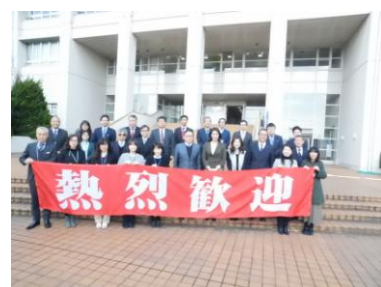
—名産大と育達科技大—

名古屋産業大学と姉妹校の育達科技大学(台湾)は、1月23日、双方の学位を取得



(調印式での黄学長と高木学長)

できるダブルディグリー(複数学位)協定を交わしました。東海地方の大学としては珍しい学部同士の協定で、高木弘恵学長



は学術面だけでなく文化や人材育成をもめざしたい」と挨拶しました。

調印式には、育達科技大学の黄榮鵬学長と高木学長が出席して協定書にサインしました。今回結んだ協定は、カリキュラムを工夫してそれぞれの大学の学位を取得できるのが特色。名古屋産業大学では春学期入学、秋学期入学の方式を取っているため単位取得が可能となりました。

黄学長は「今年9月にも応用日本語学部の優秀な学生を名産大に留学させたい」と話し、高木学長は、インターンシップなどを通じて中国語に通じた学生を養成し、「2年後には育達科技大学に送りたい」との意向を表明しました。

東北ボランティアに役立てて モーターボート競走会が寄付

名古屋産業大学は11月、日本モーターボート競走会東海地区の総責任者である来本正行常務理事から、東北ボランティア活動に役立ててと、大学祭模擬店での売上金4万余円を寄付していただきました。高木学長は2018年3月の合同ボランティア隊の活動に生かします」とお礼を述べました。



モーターボート競走の女性選手で活躍している中北涼選手が名産大の卒業生の縁で、同協会が2017年秋の大学祭で模擬店を出し、学友会が手伝ったことから、寄付をいただきました。